

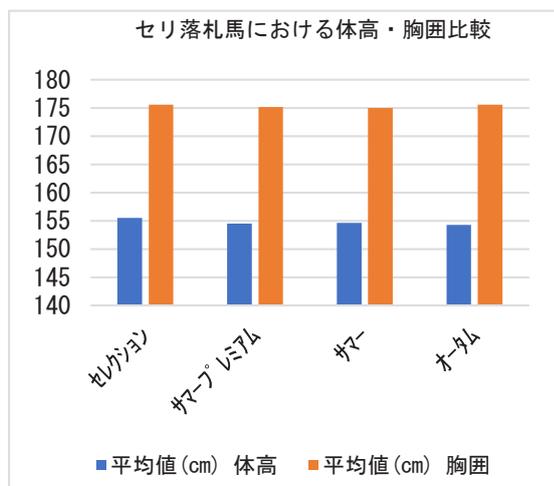
体高・胸囲からみる 2018年HBAサラブレッドセール

静内診療所 吉岡 一郎

昨年の8月からお世話になっている吉岡が今回担当します。

今年もセリが近くなってきました。今回は昨年のセレクション、サマープレミアム、サマー、オータムセールの落札馬の体高、胸囲に注視して振り返ってみたいと思います。

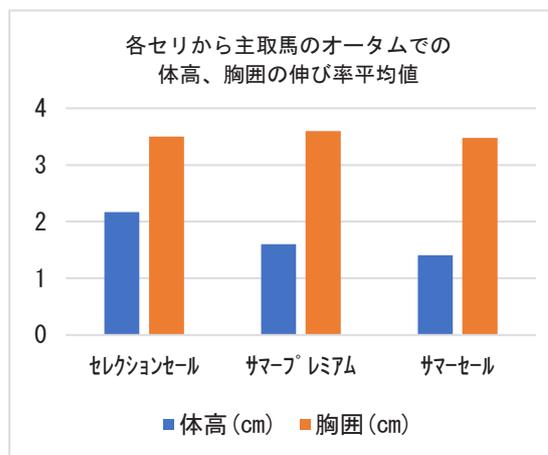
落札馬の体高・胸囲の平均値はセレクション155.5cm・175.6cm、サマープレミアム154.5cm・175.2cm、サマー154.6cm・175.0cm、オータム154.3cm・175.5cm。



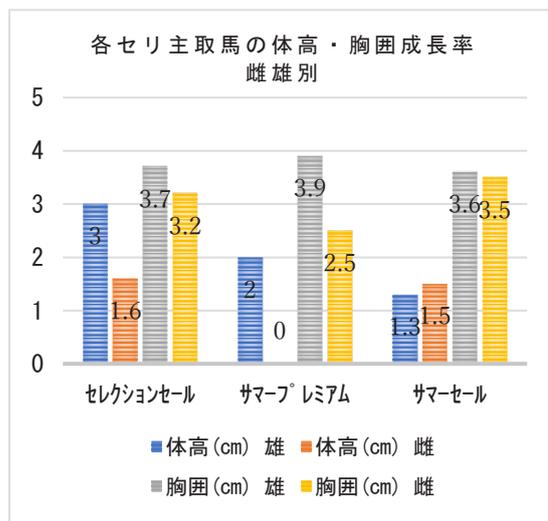
また、落札馬の体高・胸囲の中央値のデータも出してみましたが、平均値と大きな値の差はみられませんでした。

生まれ月は様々で日を追う毎に成長していきますが、どのセリにおいても落札馬の平均値の体高は155cm前後、胸囲は175cm前後を推移していることが分かります。

それぞれのセリで取引が行われず、オータムセールで再上場になったウマの成長を調べてみると体高はセリから1.5cm～2cm、胸囲に関してはどのセリからも平均3.5cm前後の成長がみられます。



また雌雄別に見てみると、全体的に体高・胸囲の成長率は雄の方が高いようです。



また、それぞれのセリにおいて高額馬トップ10となった体高と胸囲の平均値は、血統背景も要因となるランク上位の中、セレクション154.7cm・176.3cm、サマープレミアム155.2cm・177.5cm、サマー155.3cm・176.4cm、オータム154.3cm・176.3cmと、どのセリにおいても平均値に近い数字となる印象をこのデータからは受けます。

今年からは9月17日から新たにセプテンバーセールが開かれます。体高・胸囲も一つの指標として愛馬を上場するセリの選択の一つとしてみてはいかがでしょうか。